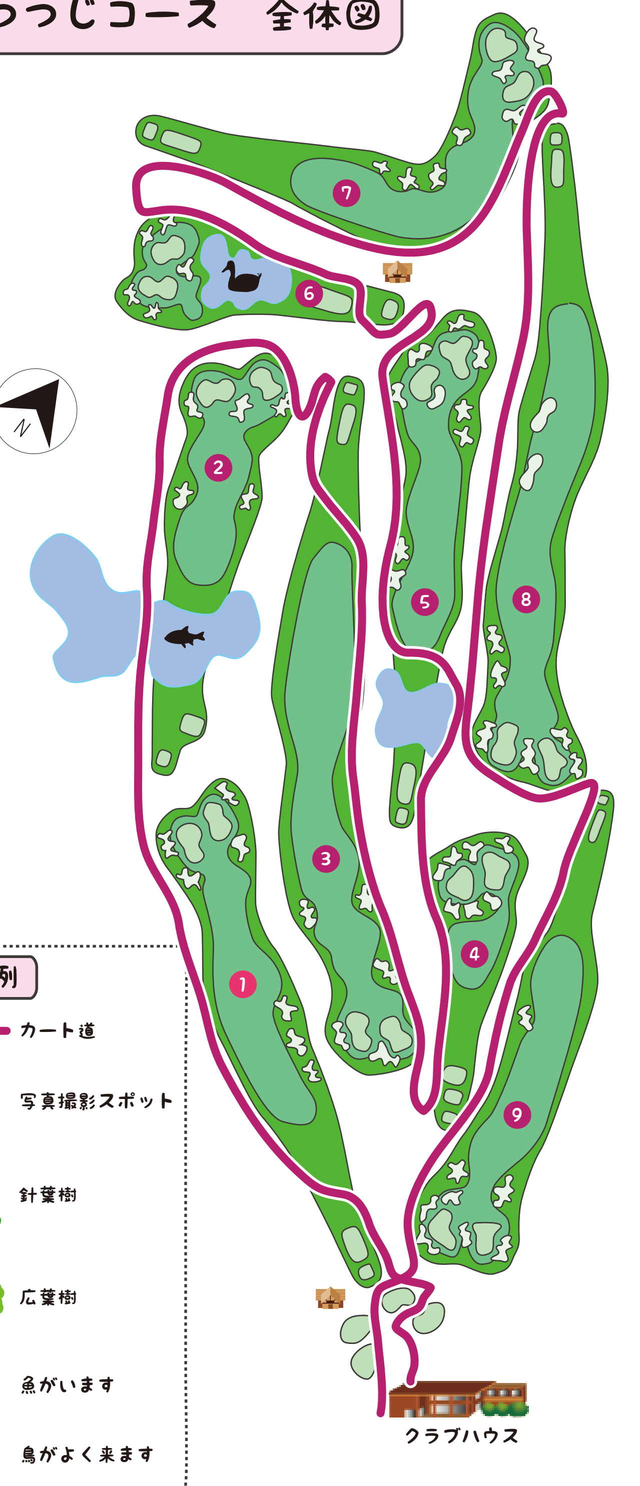
花木庭苑リゾート

ゴルフ庭苑

つつじコース編

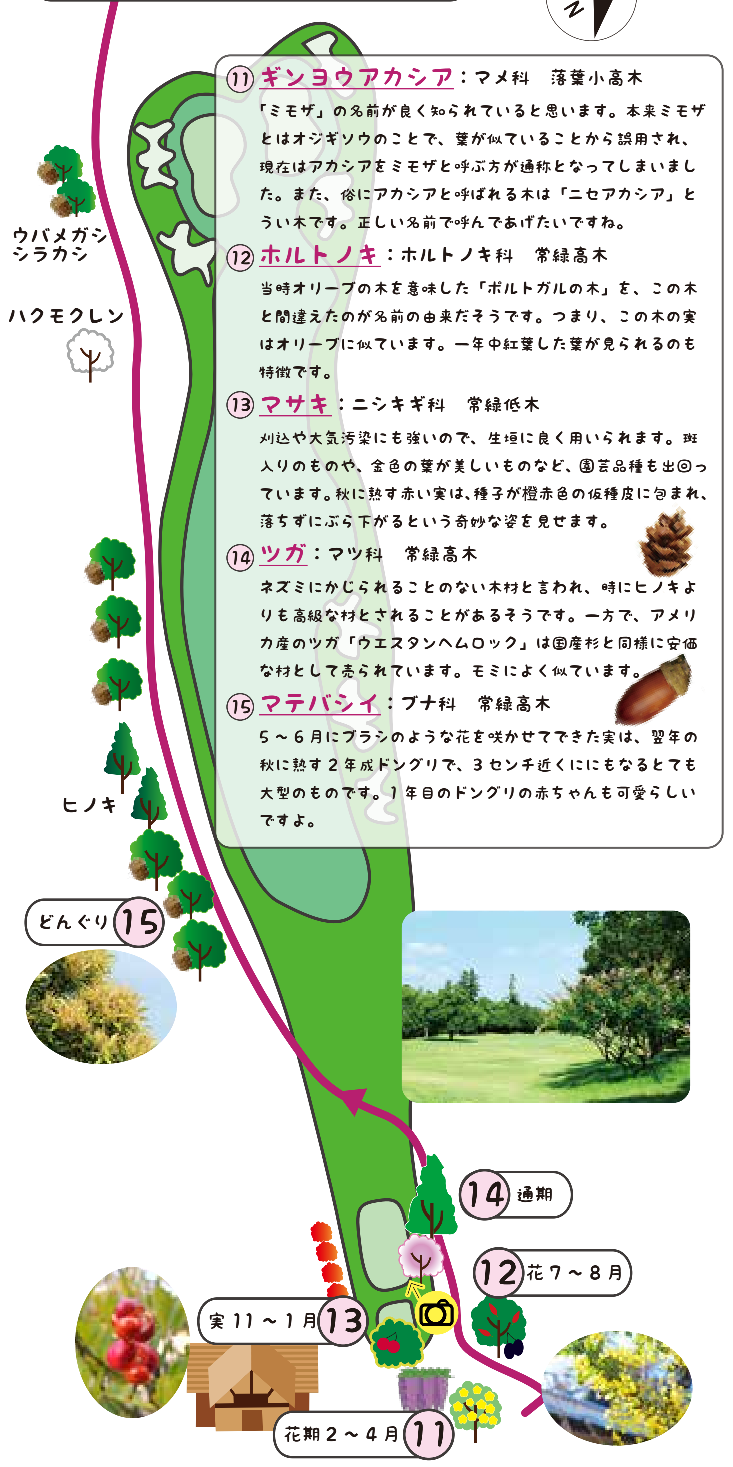
真名カントリークラブ

つつじコース　全体図



凡例
- カート道
- 写真撮影スポット
- 針葉樹
- 広葉樹
- 魚がいます
- 鳥がよく来ます

つつじコース　No.1



⑪ **ギンヨウアカシア**：マメ科　落葉小高木

「ミモザ」の名前が良く知られていると思います。本来ミモザとはオジギソウのことで、葉が似ていることから誤用され、現在はアカシアをミモザと呼ぶ方が通称となってしまいました。また、俗にアカシアと呼ばれる木は「ニセアカシア」という木です。正しい名前で呼んであげたいですね。

⑫ **ホルトノキ**：ホルトノキ科　常緑高木

当時オリーブの木を意味した「ポルトガルの木」を、この木と間違えたのが名前の由来だそうです。つまり、この木の実はオリーブに似ています。一年中紅葉した葉が見られるのも特徴です。

⑬ **マサキ**：ニシキギ科　常緑低木

刈込や大気汚染にも強いので、生垣に良く用いられます。斑入りのものや、金色の葉が美しいものなど、園芸品種も出回っています。秋に熟す赤い実は、種子が橙赤色の仮種皮に包まれ、落ちずにぶら下がるという奇妙な姿を見せます。

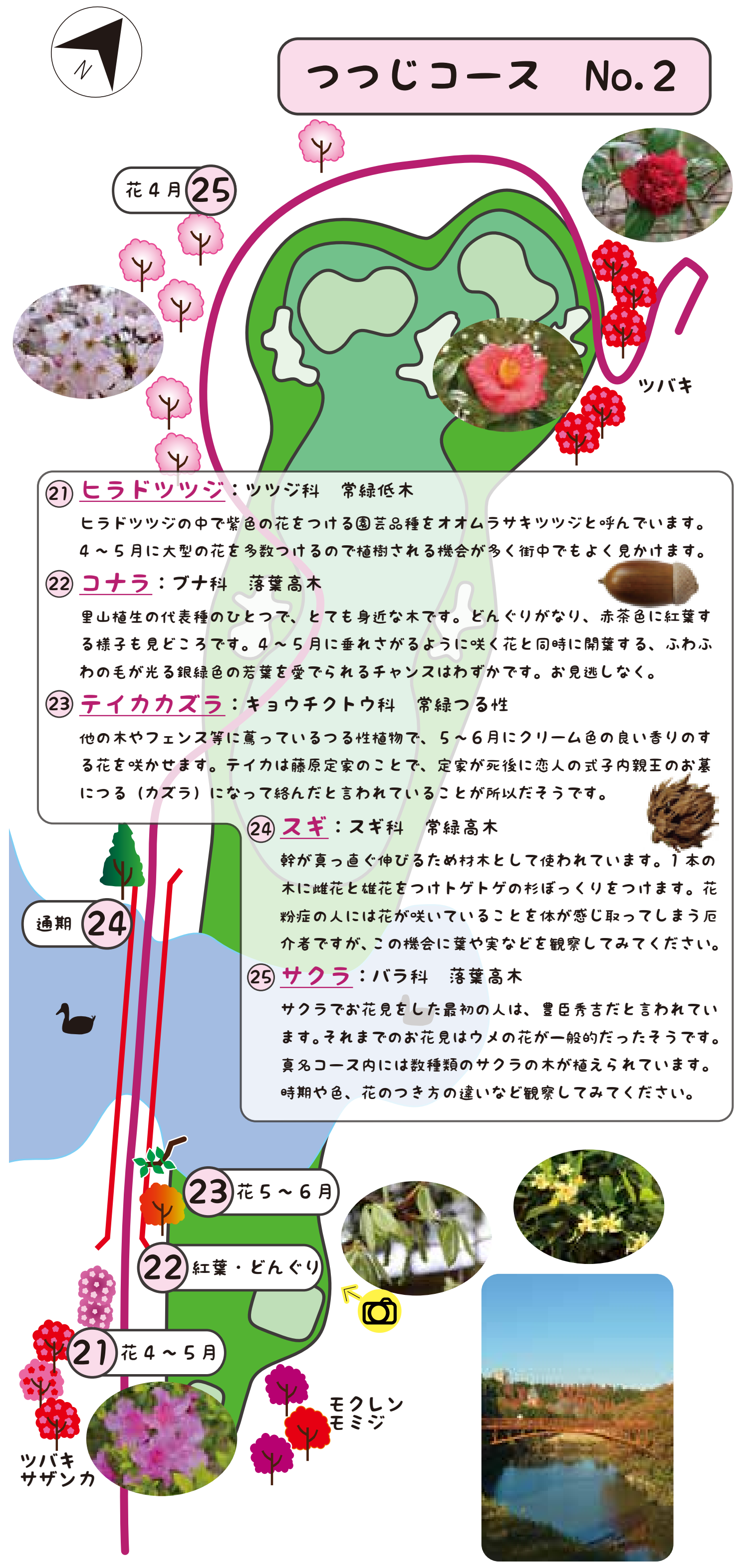
⑭ **ツガ**：マツ科　常緑高木

ネズミにかじられることのない木材と言われ、時にヒノキよりも高級な材とされることがあるそうです。一方で、アメリカ産のツガ「ウエスタンヘムロック」は国産杉と同様に安価な材として売られています。モミによく似ています。

⑮ **マテバシイ**：ブナ科　常緑高木

5～6月にブラシのような花を咲かせてできた実は、翌年の秋に熟す2年成ドングリで、3センチ近くにもなるとても大型のものです。1年目のドングリの赤ちゃんも可愛らしいですよ。

つつじコース　No.2



㉑ **ヒラドツツジ**：ツツジ科　常緑低木

ヒラドツツジの中で紫色の花をつける園芸品種をオオムラサキツツジと呼んでいます。4～5月に大型の花を多数つけるので植樹される機会が多く街中でもよく見かけます。

㉒ **コナラ**：ブナ科　落葉高木

里山植生の代表種のひとつで、とても身近な木です。どんぐりがなり、赤茶色に紅葉する様子も見どころです。4～5月に垂れさがるように咲く花と同時に開葉する、ふわふわの毛が光る銀緑色の若葉を愛でられるチャンスはわずかです。お見逃しなく。

㉓ **テイカカズラ**：キョウチクトウ科　常緑つる性

他の木やフェンス等に蔦っているつる性植物で、5～6月にクリーム色の良い香りのする花を咲かせます。テイカは藤原定家のことで、定家が死後に恋人の式子内親王のお墓につる（カズラ）になって絡んだと言われていることが所以だそうです。

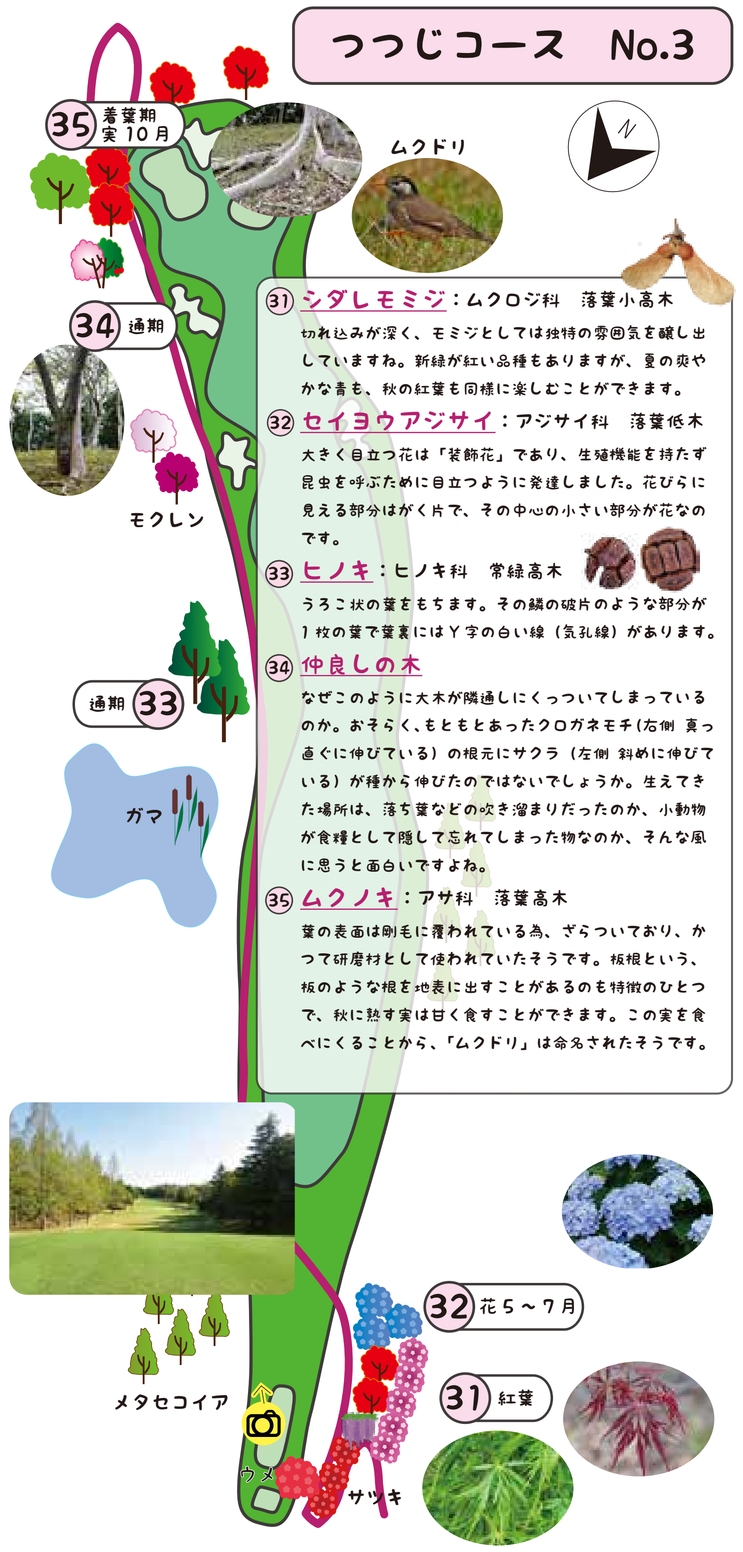
㉔ **スギ**：スギ科　常緑高木

幹が真っ直ぐ伸びるため材木として使われています。1本の木に雌花と雄花をつけトゲトゲの杉ぼっくりをつけます。花粉症の人には花が咲いていることを体が感じ取ってしまう厄介者ですが、この機会に葉や実などを観察してみてください。

㉕ **サクラ**：バラ科　落葉高木

サクラでお花見をした最初の人は、豊臣秀吉だと言われています。それまでのお花見はウメの花が一般的だったそうです。真名コース内には数種類のサクラの木が植えられています。時期や色、花のつき方の違いなど観察してみてください。

つつじコース　No.3



㉛ **シダレモミジ**：ムクロジ科　落葉小高木

切れ込みが深く、モミジとしては独特の雰囲気を醸し出していますね。新緑が紅い品種もありますが、夏の爽やかな青も、秋の紅葉も同様に楽しむことができます。

㉜ **セイヨウアジサイ**：アジサイ科　落葉低木

大きく目立つ花は「装飾花」であり、生殖機能を持たず昆虫を呼ぶために目立つように発達しました。花びらに見える部分はがく片で、その中心の小さい部分が花なのです。

㉝ **ヒノキ**：ヒノキ科　常緑高木

うろこ状の葉をもちます。その鱗の破片のような部分が1枚の葉で葉裏にはY字の白い線（気孔線）があります。

㉞ **仲良しの木**

なぜこのように大木が隣通しにくっついてしまっているのか。おそらく、もともとあったクロガネモチ（右側 真っ直ぐに伸びている）の根元にサクラ（左側 斜めに伸びている）が種から伸びたのではないでしょうか。生えてきた場所は、落ち葉などの吹き溜まりだったのか、小動物が食糧として隠して忘れてしまった物なのか、そんな風に思うと面白いですよね。

㉟ **ムクノキ**：アサ科　落葉高木

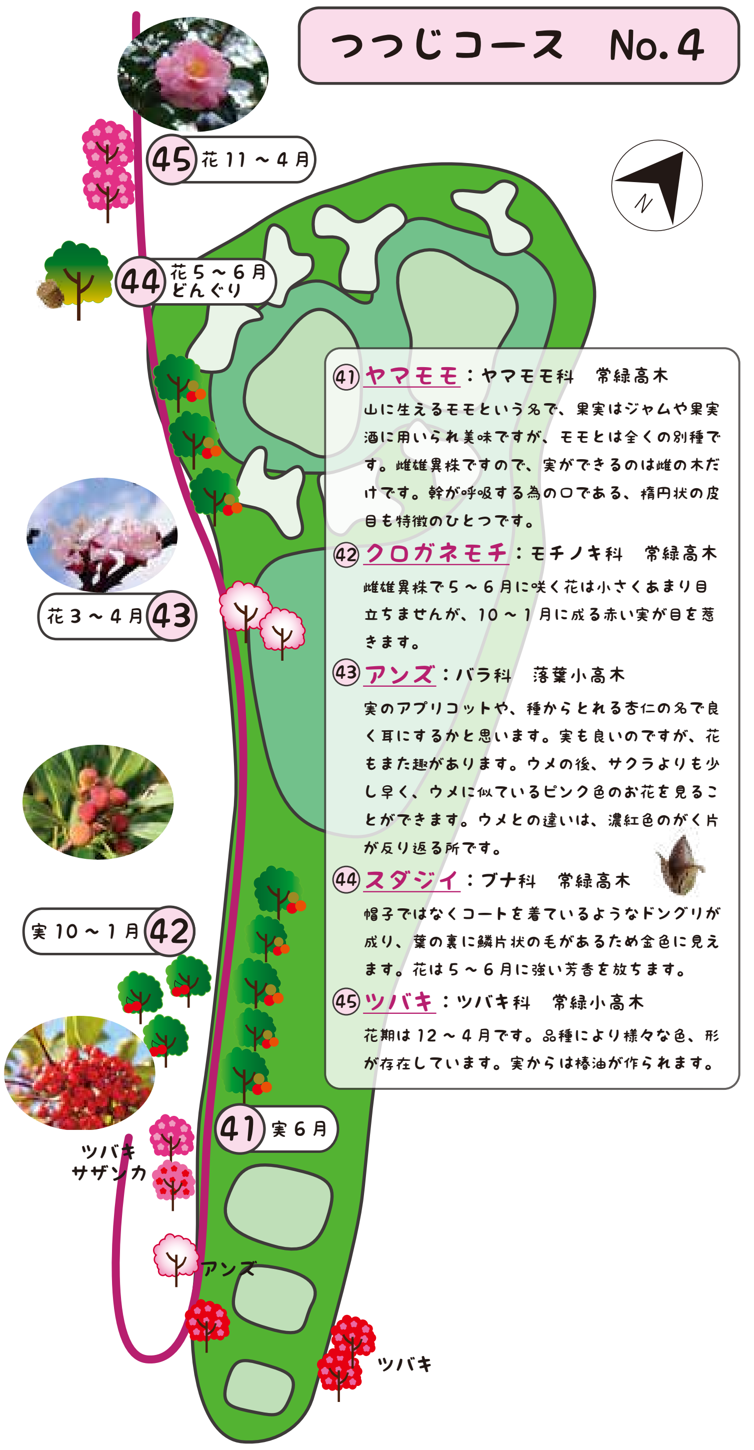
葉の表面は剛毛に覆われている為、ざらついており、かつて研磨材として使われていたそうです。板根という、板のような根を地表に出すことがあるのも特徴のひとつで、秋に熟す実は甘く食すことができます。この実を食べにくることから、「ムクドリ」は命名されたそうです。

RESOL
リソルグループ
リソル生命の森

2016.4

敷地内の動植物の採取や損傷は禁じております。
ご理解ご協力のほどお願いいたします。

つつじコース　No.4



㊶ **ヤマモモ**：ヤマモモ科　常緑高木

山に生えるモモという名で、果実はジャムや果実酒に用いられ美味ですが、モモとは全くの別種です。雌雄異株ですので、実ができるのは雌の木だけです。幹が呼吸する為の口である、楕円状の皮目も特徴のひとつです。

㊷ **クロガネモチ**：モチノキ科　常緑高木

雌雄異株で5～6月に咲く花は小さくあまり目立ちませんが、10～1月に成る赤い実が目を惹きます。

㊸ **アンズ**：バラ科　落葉小高木

実のアプリコットや、種からとれる杏仁の名で良く耳にするかと思います。実も良いのですが、花もまた趣があります。ウメの後、サクラよりも少し早く、ウメに似ているピンク色のお花を見ることができます。ウメとの違いは、濃紅色のがく片が反り返る所です。

㊹ **スダジイ**：ブナ科　常緑高木

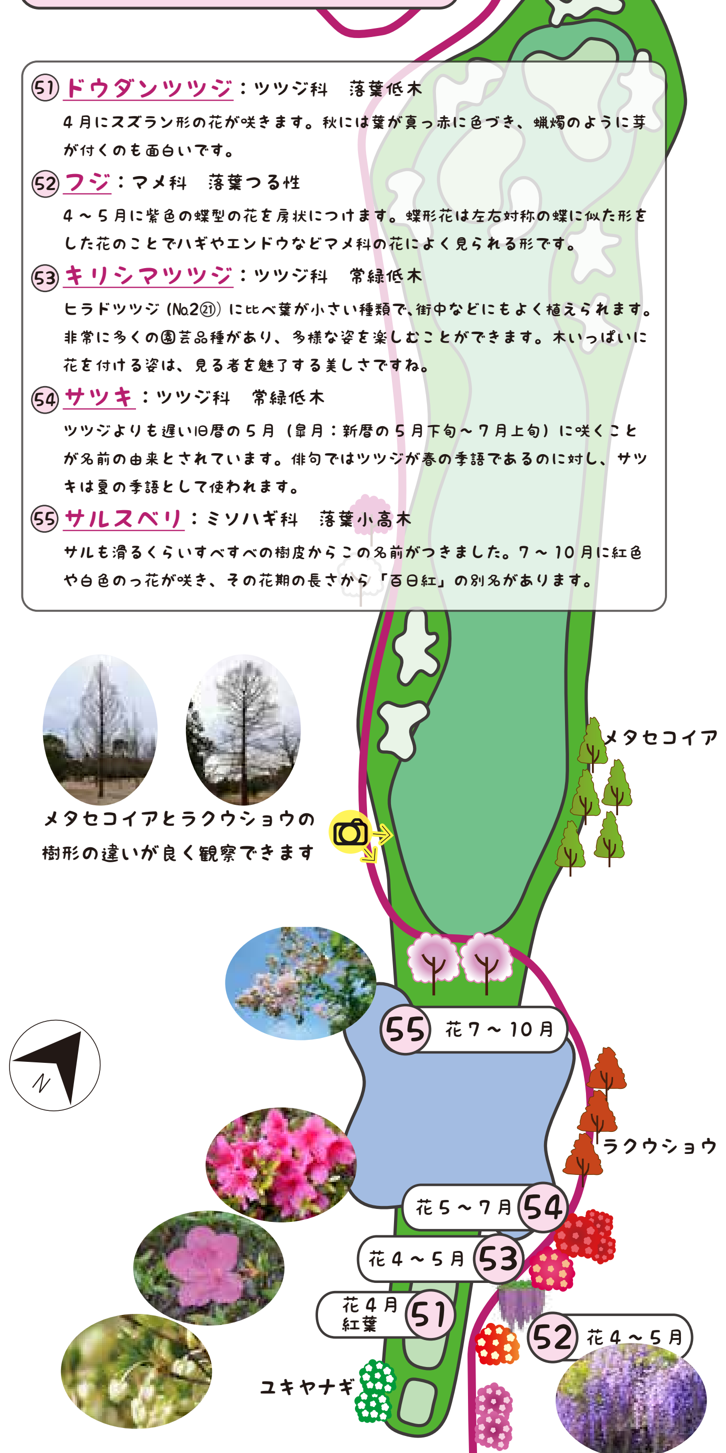
帽子ではなくコートを着ているようなドングリが成り、葉の裏に鱗片状の毛があるため金色に見えます。花は5～6月に強い芳香を放ちます。

㊺ **ツバキ**：ツバキ科　常緑小高木

花期は12～4月です。品種により様々な色、形が存在しています。実からは椿油が作られます。

ツツジ科の代表が勢揃いのホールです

つつじコース　No.5



(51) **ドウダンツツジ**：ツツジ科　落葉低木

4月にスズラン形の花が咲きます。秋には葉が真っ赤に色づき、蝋燭のように芽が付くのも面白いです。

(52) **フジ**：マメ科　落葉つる性

4～5月に紫色の蝶型の花を房状につけます。蝶形花は左右対称の蝶に似た形をした花のことでハギやエンドウなどマメ科の花によく見られる形です。

(53) **キリシマツツジ**：ツツジ科　常緑低木

ヒラドツツジ（No.2㉑）に比べ葉が小さい種類で、街中などにもよく植えられます。非常に多くの園芸品種があり、多様な姿を楽しむことができます。木いっぱいに花を付ける姿は、見る者を魅了する美しさですね。

(54) **サツキ**：ツツジ科　常緑低木

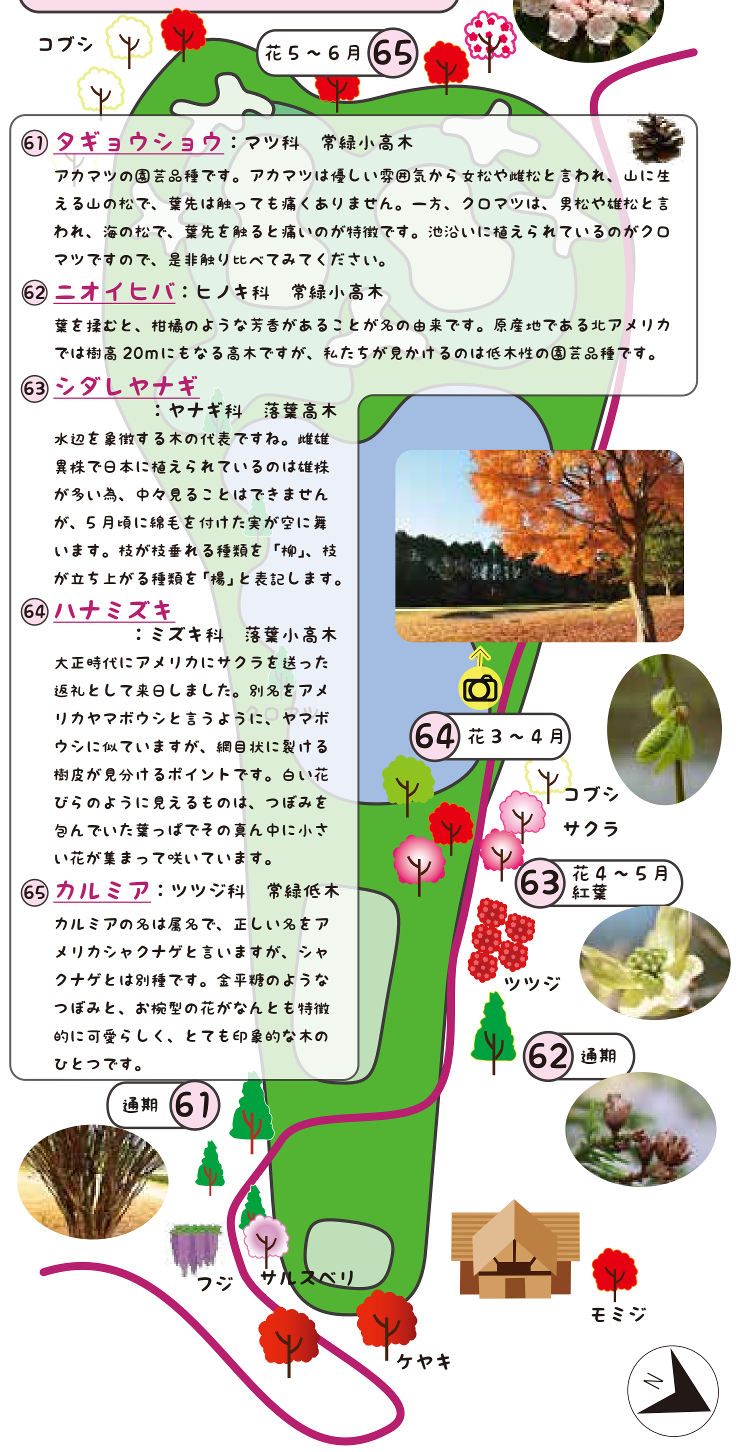
ツツジよりも遅い旧暦の5月（皐月：新暦の5月下旬～7月上旬）に咲くことが名前の由来とされています。俳句ではツツジが春の季語であるのに対し、サツキは夏の季語として使われます。

(55) **サルスベリ**：ミソハギ科　落葉小高木

サルも滑るくらいすべすべの樹皮からこの名前がつきました。7～10月に紅色や白色のっ花が咲き、その花期の長さから「百日紅」の別名があります。

真名コース随一の庭園風景を楽しめるホールです！

つつじコース　No.6



(61) **タギョウショウ**：マツ科　常緑小高木

アカマツの園芸品種です。アカマツは優しい雰囲気から女松や雌松と言われ、山に生える山の松で、葉先は触っても痛くありません。一方、クロマツは、男松や雄松と言われ、海の松で、葉先を触ると痛いのが特徴です。池沿いに植えられているのがクロマツですので、是非触り比べてみてください。

(62) **ニオイヒバ**：ヒノキ科　常緑小高木

葉を揉むと、柑橘のような芳香があることが名の由来です。原産地である北アメリカでは樹高20mにもなる高木ですが、私たちが見かけるのは低木性の園芸品種です。

(63) **シダレヤナギ**：ヤナギ科　落葉高木

水辺を象徴する木の代表ですね。雌雄異株で日本に植えられているのは雄株が多い為、中々見ることはできませんが、5月頃に綿毛を付けた実が空に舞います。枝が枝垂れる種類を「柳」、枝が立ち上がる種類を「楊」と表記します。

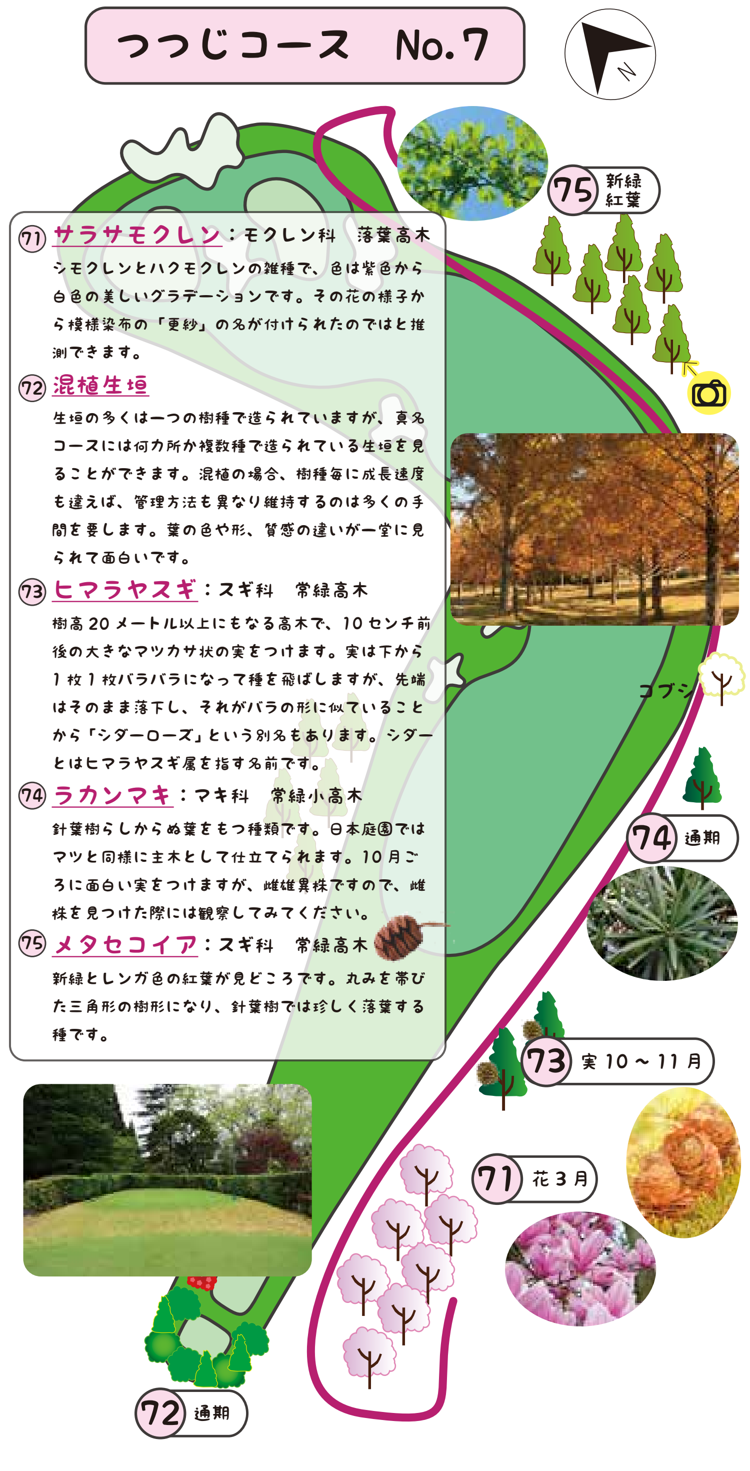
(64) **ハナミズキ**：ミズキ科　落葉小高木

大正時代にアメリカにサクラを送った返礼として来日しました。別名をアメリカヤマボウシと言うように、ヤマボウシに似ていますが、網目状に裂ける樹皮が見分けるポイントです。白い花びらのように見えるものは、つぼみを包んでいた葉っぱでその真ん中に小さい花が集まって咲いています。

(65) **カルミア**：ツツジ科　常緑低木

カルミアの名は属名で、正しい名をアメリカシャクナゲと言いますが、シャクナゲとは別種です。金平糖のようなつぼみと、お椀型の花がなんとも特徴的に可愛らしく、とても印象的な木のひとつです。

つつじコース　No.7



(71) **サラサモクレン**：モクレン科　落葉高木

シモクレンとハクモクレンの雑種で、色は紫色から白色の美しいグラデーションです。その花の様子から模様染布の「更紗」の名が付けられたのではと推測できます。

(72) **混植生垣**

生垣の多くは一つの樹種で造られていますが、真名コースには何カ所か複数種で造られている生垣を見ることができます。混植の場合、樹種毎に成長速度も違えば、管理方法も異なり維持するのは多くの手間を要します。葉の色や形、質感の違いが一堂に見られて面白いです。

(73) **ヒマラヤスギ**：スギ科　常緑高木

樹高20メートル以上にもなる高木で、10センチ前後の大きなマツカサ状の実をつけます。実は下から1枚1枚バラバラになって種を飛ばしますが、先端はそのまま落下し、それがバラの形に似ていることから「シダーローズ」という別名もあります。シダーとはヒマラヤスギ属を指す名前です。

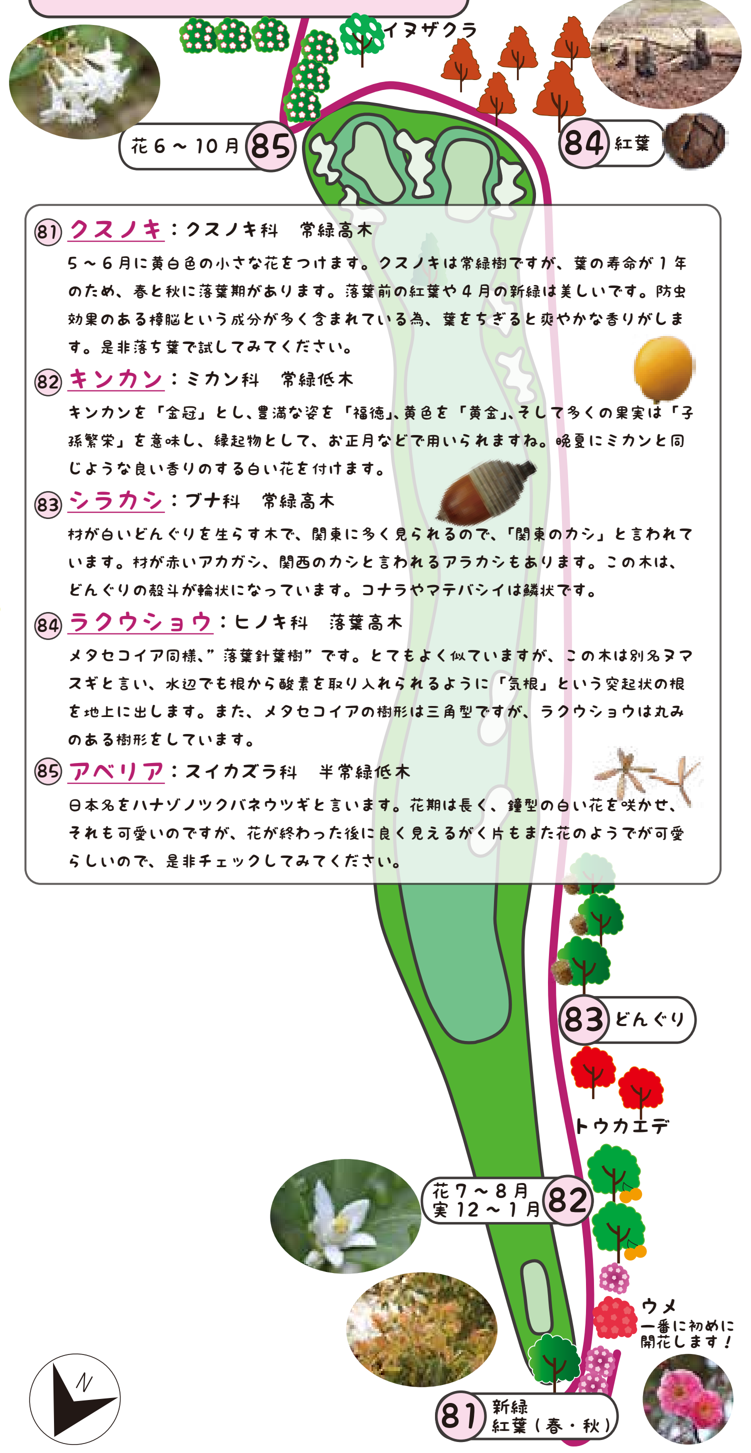
(74) **ラカンマキ**：マキ科　常緑小高木

針葉樹らしからぬ葉をもつ種類です。日本庭園ではマツと同様に主木として仕立てられます。10月ごろに面白い実をつけますが、雌雄異株ですので、雌株を見つけた際には観察してみてください。

(75) **メタセコイア**：スギ科　常緑高木

新緑とレンガ色の紅葉が見どころです。丸みを帯びた三角形の樹形になり、針葉樹では珍しく落葉する種です。

つつじコース　No.8



(81) **クスノキ**：クスノキ科　常緑高木

5～6月に黄白色の小さな花をつけます。クスノキは常緑樹ですが、葉の寿命が1年のため、春と秋に落葉期があります。落葉前の紅葉や4月の新緑は美しいです。防虫効果のある樟脳という成分が多く含まれている為、葉をちぎると爽やかな香りがします。是非落ち葉で試してみてください。

(82) **キンカン**：ミカン科　常緑低木

キンカンを「金冠」とし、豊満な姿を「福徳」、黄色を「黄金」、そして多くの果実は「子孫繁栄」を意味し、縁起物として、お正月などで用いられますね。晩夏にミカンと同じような良い香りのする白い花を付けます。

(83) **シラカシ**：ブナ科　常緑高木

材が白いどんぐりを生らす木で、関東に多く見られるので、「関東のカシ」と言われています。材が赤いアカガシ、関西のカシと言われるアラカシもあります。この木は、どんぐりの殻斗が輪状になっています。コナラやマテバシイは鱗状です。

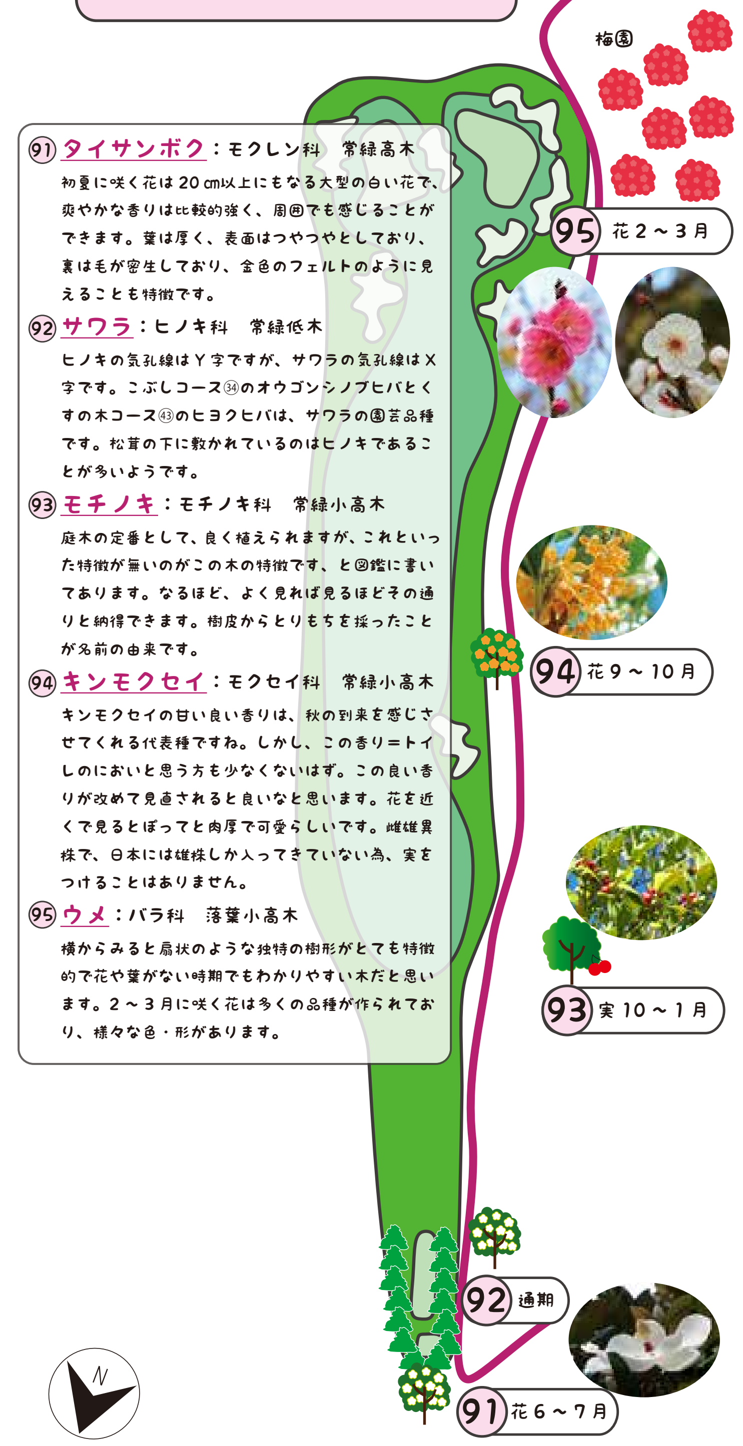
(84) **ラクウショウ**：ヒノキ科　落葉高木

メタセコイア同様、”落葉針葉樹”です。とてもよく似ていますが、この木は別名ヌマスギと言い、水辺でも根から酸素を取り入れられるように「気根」という突起状の根を地上に出します。また、メタセコイアの樹形は三角型ですが、ラクウショウは丸みのある樹形をしています。

(85) **アベリア**：スイカズラ科　半常緑低木

日本名をハナゾノツクバネウツギと言います。花期は長く、鐘型の白い花を咲かせ、それも可愛いのですが、花が終わった後に良く見えるがく片もまた花のようでが可愛らしいので、是非チェックしてみてください。

つつじコース　No.9



(91) **タイサンボク**：モクレン科　常緑高木

初夏に咲く花は20㎝以上にもなる大型の白い花で、爽やかな香りは比較的強く、周囲でも感じることができます。葉は厚く、表面はつやつやとしており、裏は毛が密生しており、金色のフェルトのように見えることも特徴です。

(92) **サワラ**：ヒノキ科　常緑低木

ヒノキの気孔線はY字ですが、サワラの気孔線はX字です。こぶしコース㉞のオウゴンシノブヒバとくすの木コース㊸のヒヨクヒバは、サワラの園芸品種です。松茸の下に敷かれているのはヒノキであることが多いようです。

(93) **モチノキ**：モチノキ科　常緑小高木

庭木の定番として、良く植えられますが、これといった特徴が無いのがこの木の特徴です、と図鑑に書いてあります。なるほど、よく見れば見るほどその通りと納得できます。樹皮からとりもちを採ったことが名前の由来です。

(94) **キンモクセイ**：モクセイ科　常緑小高木

キンモクセイの甘い良い香りは、秋の到来を感じさせてくれる代表種ですね。しかし、この香り＝トイレのにおいと思う方も少なくないはず。この良い香りが改めて見直されると良いなと思います。花を近くで見るとぽってと肉厚で可愛らしいです。雌雄異株で、日本には雄株しか入ってきていない為、実をつけることはありません。

(95) **ウメ**：バラ科　落葉小高木

横からみると扇状のような独特の樹形がとても特徴的で花や葉がない時期でもわかりやすい木だと思います。2～3月に咲く花は多くの品種が作られており、様々な色・形があります。